

保護者の皆様へ

愛別町幼児センター 園長 高橋 俊夫

令和5年度 保護者アンケート集計結果について

3学期がスタートし、子どもたちの元気いっぴいの声が幼児センターに戻ってきました。保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、お忙しい中、アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。皆様からご回答をいただきましたアンケート結果につきまして、ご報告申し上げます。

幼児センターでは、この結果を真摯に受け止めるとともに、職員が行う自己評価と合わせて、改善策を検討し、来年度の計画や今後の幼児センターの教育・保育に生かしてまいります。今後ともより一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

配布戸数 38戸 回収戸数 26戸 回収率 68.4%		評 価 (%) ※下段網掛けは令和4年度の評価				
評 価 内 容		4 そう思う	3 ややそう思う	2 あまり思わない	1 そう思わない	評価の 平均
1	やさしく思いやりがある子どもに育ってきていると思いますか。(年度の重点教育目標)	58%	42%	0%	0%	3.58
		52%	48%	0%	0%	3.52
2	自分で考え、やろうとする子どもに育ってきていると思いますか。(年度の重点教育目標)	58%	42%	0%	0%	3.58
		56%	41%	3%	0%	3.52
3	あいさつ・返事ができる子どもに育ってきていると思いますか。(年度の重点教育目標)	54%	46%	0%	0%	3.54
		41%	56%	3%	0%	3.37
4	お子さんは元気に楽しく登園していると思いますか。(元気に楽しく登園)	73%	23%	4%	0%	3.69
		67%	33%	0%	0%	3.67
5	各種のお知らせは、分かりやすく伝えられていると思いますか。(通知文による情報提供)	65%	31%	4%	0%	3.62
		67%	33%	0%	0%	3.67
6	学級通信や連絡帳等を通して、保育のねらいや活動内容、お子さんの生活の様子は伝えられていると思いますか。(保育・生活の様子の情報提供)	65%	35%	0%	0%	3.65
		74%	23%	3%	0%	3.70
7	各種行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら工夫し、実施されていると思いますか。(行事の工夫)	58%	42%	0%	0%	3.58
		70%	30%	0%	0%	3.70
8	保護者に対して、丁寧なあいさつをし、誠意をもって対応していると思いますか。(誠意ある対応)	50%	46%	0%	4%	3.42
		74%	26%	0%	0%	3.74
9	幼児センターで起きた事故やケガ、感染症や急な体調の変化に対して、適切な対応がなされていると思いますか。(健康・安全への対応)	54%	38%	8%	0%	3.46
		56%	41%	3%	0%	3.52
10	お子さんの気持ちや様子、子育てについて話をしたり、相談が行われていると思いますか。(相談活動の実施)	58%	42%	0%	0%	3.58
		59%	41%	0%	0%	3.59

【考 察】

≪評価の高かった項目≫

○昨年度に引き続き、10項目の評価の平均がすべて3点台となった。

○1「やさしく思いやりのある子ども」2「自分で考え、やろうとする子ども」3「あいさつ・返事ができる子ども」6「保育・生活の様子の情報提供」7「行事の工夫」10「相談活動の実施」の6項目で、「4」「3」の割合が100%となっている。

○評価の平均で最も高い数値は、4「元気に楽しく登園している」(3.69)で、最も低い数値は、8「誠意ある対応」(3.42)であった。

○全体の評価の平均は、令和4年度(3.60)、令和5年度(3.57)となっており、令和5年度の方がわずかに0.03ポイント低い数値となった。

保護者の皆様からいただいたアイデア、ご意見・ご要望をまとめました。なお、文章でお書きいただいた内容は原文を尊重しますが、個人(子ども、保護者、職員)が特定されると判断した場合は表現を変えて掲載しております。ご了承ください。

《保護者アンケートによる教育活動へのアイデア、ご意見・ご要望について》

○いつも温かく愛情たっぷりの保育活動をしていただき、とてもありがたく思っています。感謝・感謝です。

○毎日楽しく通っています。日々の生活や行事を通して、子どもの成長を感じています。先生方、いつもありがとうございます。

【健康安全について】

○以前、子どもを登園させた時に、玄関から2人のきょうだい子どもたちだけで飛び出してきた。どうやら、先生が、その子どもたちのお母さんに用事があったらしく、子どもたちがお母さんを呼び止めようとして、走って玄関から外に出て来た様子でした。幸い、事故は起きませんでした。朝の玄関前は、車も多く危険です。子どもたちだけで外に出さないよう、改めてご注意いただきたいと思います。

⇒ご心配おかけしまして、大変申し訳ございません。これまで、このような事案があったのか、職員に確認しております。また、今後、このような事案が起こらないよう、職員同士、互いに声かけをしながら、子どもたちの安全安心を確保して参ります。

○おしぼりが夏の気温が高い時期など、汚れた状態で袋に入れると、とても不衛生だと思う。漂白をしても限度がある。手口拭き(ウェットティッシュ?)に変更することはできないか。

⇒毎日、それぞれのご家庭で、お子さんが使用している給食用のおしぼりを点検し、洗濯や漂白していただき、ありがとうございます。幼児センターでは、給食時に使用するおしぼりは、各ご家庭からお子さんが持参してくるようお願いしております。

未満児側の教室やランチルームにはウェットティッシュを置いてありますが、これは、おやつの際に使用しており、給食時には使用しておりません。

給食用のおしぼりにつきましては、各ご家庭で何枚か用意され、汚れ具合を見ながら交換しお子さんに持たせてくださいますようお願いいたします。

○子ども同士のトラブルがあるのは仕方ないが、ひっかくなどして顔に傷がつき跡がついてしまったりするので、爪を短くして登園するなどの声かけをして欲しい。

⇒他のお子さんに爪でけがをさせないように、いつもお子さんの爪を気にかけて、丁寧に切ってください。保護者の方もおられます。また、未満児においては、保育教諭も子どもの爪の伸び具合を見ながら、爪切りで爪を切っております。

ご提案されたように、今後、センターだよりや学級通信等で保護者の方に、お子さんの爪の伸び具合を確認していただくよう、呼びかけるのも良い方法かもしれません。

せん。検討させていただきます。

○感染症が園で流行した際、もう少し早め周知することはできないか。遅いわけではないですが、噂の方が早く回ってきます。体調不良で病院受診の際、検査がスムーズになったり、指標となるのではないか。マチコミを流すほどの大人数でなければ玄関に張り出す等でもいいです。

⇒これまで、幼児センターでは、学級の幼児数にもよりますが、在籍数の2割程度の幼児が何らかの感染症に罹患した場合、マチコミメールを活用し、感染状況等を保護者の方にお知らせしております。一方、保護者の皆さんの中にはLINE等で、いち早く幼児センターの感染症の状況を知っておられる方もおります。

幼児センターにおきましても、子どもの個人情報に十分配慮しながら、保護者の方に幼児センター内の感染状況をタイムリーにお知らせいたします。何かご不明な点がございましたら、遠慮なく幼児センターに電話していただき、ご確認ください。

【幼児の入園について】

○今年度は、保育教諭の不足により、入園の人数が制限されてしまいとても残念です。

町として、もう少し対策を考えて欲しかったなと思います。また、来年度の運営についても、もう少し早い段階で説明をして欲しいです。

⇒幼児センターに入園を希望されるすべてのお子さんを受け入れることが、私たちの責務と考えております。一方、幼児センターの職員の現状は、令和5年3月末に1名の正職員と2名の会計年度任用職員が退職しております。また今現在、2名の正職員と1名の会計年度任用職員が育児休業を取得しております。職員の不足を補うために、年度の途中で会計年度任用職員を募集しており、本年1月中旬より、1名補充されることになりましたので、可能な限り対応させていただきます。

1月発行予定の町広報誌に令和6年度幼児センター園児募集要項を掲載しておりますが、今後の保育教諭数の状況によっては、3号認定の乳幼児の入園数を制限させていただく場合がございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

【けがをした場合の連絡・対応について】

○園児同士のトラブル（叩いた等）などの報告はいつもありがたいのですが、その後の対応にいつも悩みます。（TELすべきかなど）大けがで相手側へ必ず謝罪が必要な場合以外は匿名にするなどの対応をしていただけないでしょうか。むしろ、個人名を出している理由はなぜですか。加害者側の親としては、「またうちの子やっちゃた」、被害者側は「あの子よくやる子だから」となっています。

⇒幼児センター内で、お子さんにけがをさせてしまい、大変申し訳ございません。昨年も、このようなお話をいただきました。保護者の方にはいろいろなお考えがあるようです。お互い様なので、やってしまった、やられた程度の報告でよいのではないかと、言う方もおられますし、程度はどうであれ、けがについてはきちんと報告してもらいたい、と言う方もおられます。

昨年もお答えしましたが、幼児センターでは、噛んだ、叩いたなどのけがにつきましては、以下のような対応を取らせていただいています。

- ・職員の打ち合わせ（14：30）の中で、「いつ、どこで、誰が、何を、どうした」ということを報告し、職員間で情報を共有しています。
- ・幼児センターで起きた事故ですので、双方の保護者の方にお詫びしなければいけません。
- ・そして、お子さんが帰宅する際には、担任もしくは他の職員の方から、双方の保護者の方（けがをしたお子さんの保護者、けがをさせてしまったお子さんの保護者）にけがの状況等をお知らせしております。
- ・けがの程度によっては、直接、担任からけがをしたお子さんのご家庭に、電話でけがをした経緯や状況等を保護者の方に説明することもあります。
- ・以前、けがをしたお子さんの保護者の方に、けがをさせてしまったお子さんの保護者から、「謝罪がなかった」とのお話がありました。
- ・けがの状況にもよりますが、けがをさせてしまったお子さんの保護者の方から、謝罪すべきかどうか聞かれた場合、「謝罪した方がいいですよ」とアドバイスをしたことはありました。
- ・また、けがをしたお子さんの保護者から、「子ども同士のことですから、1回1回謝罪する必要はありません。」と言われたこともありました。
- ・幼児センターとしては、けがをしたお子さんの保護者の方への謝罪につきましては、けがをさせてしまったお子さんの保護者の方の判断にお任せします。

以 上